

安全への取り組み

〔安全報告書 安全への取り組みの報告内容は、鉄道事業法で公表が義務付けられている「安全報告書」を兼ねています。〕

安心して鉄道をご利用いただくために、当社では安全輸送の完遂を経営の基底とし、さまざまな取り組みを行っています。安全統括管理者のもと、安全管理の体制を整備し、教育・訓練・技術継承など従業員を対象とした取り組みや、安全を確保するための鉄道施設や車両の整備などを日々行っています。

安全統括管理者ごあいさつ

当社の安全基本方針の一番目に「安全最優先」を掲げておりますように、鉄道事業にとって「安全」が全てに優先することは言うまでもありません。しかし、安全を守り続けることは決して容易なことではなく、むしろ非常に困難なことだと言えます。それは鉄道を動かすにあたっては数多くの人間が携わっており、ミスを起こさない完璧な人間というものはいないからです。

鉄道の歴史は事故の歴史と言われるように、自社・他社を問わず発生した事故を契機に様々な対策を立て、同様のミスが事故につながらないための努力を積み重ねてきました。その代表的な例が、信号見落とし、スピードオーバーなどを未然に防止するATSであり、これらのハード対策によって保安度を向上させてきました。

一方で、ソフト面での対策も非常に重要です。トラブルが発生すれば規程類や手順表などをその都度見直していますし、現場での教育・訓練も定期的に行うことが必要です。また、職場内でのコミュニケーションも大切です。報告・連絡をきっちり行うことで勘違いによるミスを防げますし、悩みや疑問を気軽に言い合えることで雑念などミスの遠因を取り除くこともできます。風通しの良い職場が安全を作るのです。

ミスの芽、あるいは事故の芽をなくしていく取り組みを継続し、安心してご乗車いただける「お客さまにやさしい鉄道」をつくりあげるよう、日夜努力してまいります。



安全統括管理者
取締役常務執行役員
協 博一